

報告日 令和7年9月19日

報告回次 2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	兵庫県 加東市			代表者名	岩根 正
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル推進課	連絡先電話番号	0795-43-0529
担当者役職	主事	担当者氏名	臼杵 義之	連絡先E-mail	
住所	673-1493 兵庫県加東市社50番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX推進事業		
概要	DXの推進にあたって職員のDXマインドと機運の醸成を図り、各課におけるDXの推進を進めたい。本研修の実施により、職員がDXのXの部分について考えるきっかけとしたい。これからのDXマインドの醸成方法と庁内のDXをおしすすめる手法、現在行っているワーキングの内容についても助言いただきたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月17日	講演(実地)	8時30分	17時00分	60
				活動時間（分）	450

2-2.

派遣場所	会場名	兵庫県加東市役所	最寄駅	JR加古川線 社町駅
	所在地	兵庫県加東市社50番地	最寄駅からの交通手段	送迎

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	加東市の現状を理解していただき、なおかつデジタル推進課としての思いも汲んでいただき、研修していただきました。ただただ受けるだけではなく、参加者にこの研修での成果を明確にして参加者自身に決めさせるのが受け身にならない双方向の研修で非常に良かった。普段考えないようなことを職員に考えてもらう良い機会となった。また、ワークショップについては、ファシリテーションの方法なども参考になり、勉強になることばかりだった。
アドバイザーへの要望事項	今後も困ったことがあればご相談させていただきたいです。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	96人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	96			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	加東市の現状としては、10年、20年後の加東市の将来を考えるに当たり、DXの推進は必要不可欠なものです。現在、加東市ではDX推進のためにワーキンググループを上級者向け、中級者向け、新任職員向けの3つに分けて行っています。ワーキンググループの成果の一部として、オンライン申請の数などは以前と比べて増加し、DXも以前よりは推進されているように感じていますが、DXの進捗具合が課ごとでばらつきがあり、未だに職員全体にDXの必要性が十分に伝わっておらず、DXマインドが形成されているとは言い難い状況です。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員にDXのマインドを醸成することにより、DX推進の必要性を理解していただき、日頃の業務から各課において業務改善、業務改革に向けて積極的な取組が行われるようにしたいです。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	普段の自分の仕事が誰のどんな喜びにつながっているのかを考えながら仕事をする事の大切さ、お互いを理解しながら課題解決や新たな価値を創造することの重要性、そのためには対話が必要である。雑談も仕事をするうえで重要。 3年後の理想の加東市を考えることで、DXをジブンゴト化。働きやすさではなく、働き甲斐のある職場にしていくなためにもまずは自分から動いていくこと。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXをジブンゴトとして思ってくれなくて、周りの人や環境のせいにしがちな職員が多かったが、この研修を受けて実際に行動に移した人が多数出てきた。 この流れのまま業務改革、業務改善を自分事として感じ行動に移していってもらえるように仕掛け作りをしていきたい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
	研修で決めた72時間以内アクションを実際に起こしたことを全庁チャットで報告できる仕組みを作ったところ、多数の職員が行動しチャットに投稿してくれた。 また、共創PFへの登録者が研修以降40名以上増えた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	まだ、職員の中にはジブンゴト化していない職員も多い。またチャットへの投稿を嫌がったりなど自分から積極的に動いていくのが恥ずかしいと思う職員もいる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 長尾様の当課へのご配慮でアンケートは取らなかった。	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	各課が主導で業務改善、業務改革が自発的に取組が行われること。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

